

JR貨物夏季手当1.5ヶ月で妥結

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

生活できる賃金保障を

貨物会社は1.5ヶ月の夏季手当が妥結した。支払いも他社と比べて遅い7月8日に支払いを行なっています。これは昨年に比べて0.14ヶ月のプラスになっています。国労は3.0か月の統一要求を掲げていますが、生活改善には程遠い物になっています。

貨物会社は分割・民営化以降、鉄道部門の赤字経営が続いています。「中期経営計画2016」の最終年度であるが、17年連続のベースアツプゼロに引き続き夏季手当でも低額回答となった。これでは社員のモチベーションが上がらず、将来展望が明るくないと



若いうちに仕事を辞めてしまいう状況にあります。今年

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を
訴えよう!

度の新採者は無く、福利厚生
の廃止や人件費削減による
コスト削減で労働者に負
担をさせて黒字経営をして

第4回 三線区車掌交流会

7月11日、ひたちなか市で第4回三線区車掌交流会を開催しました。

JR東日本内3線区で15名、東武鉄道労組七光台電車区分会の吉田分会長と永田事務長で議論、交流会を開催しました。

今後も継続して行くことを確認し、懇親会を行ってききました

3月のダイヤ改正の目玉である「北海道新幹線」は幸い順調に進んでいるが、開業に伴う第3セクターによる問題点や不利益も聞かえてきています。三線区では何と言ってもUTラインに伴う問題点が

いるのが実態です。



多く出されました。とにかく事故が多く定時運転される事の方が少ない。また一線区で起きた事故によって、三線区全てに影響及び、遅れや運休が頻繁に発生している。また各休憩室（東京・高

崎・籠原・大宮）のスペースが狭いし食事室もイスの数が少ない。支社間を跨いだ改善に向けた要求をこれからも出していきたい。

東武労組からはJR同様、人員不足、過密労働、会社による締め付けの報告がされました。

その中で吉田分会長からは国労を手本として安全への妥協のない闘いを行って欲しいと訴えられた。

これを機会に共に連携してより良い運動を展開していくことを確認しました。

組織拡大標語募集中

国労東日本本部は、新採対策や機関紙等に組織拡大の高揚を図るため、他労組組合員や国労内部に呼びかける標語を募集します。8月5日まで地本まで報告お願いします。